岡山市立曽根小学校　学校だより

そねっ子

2024. 12. 24
11・12 月号 Ⅱ
曽根小 HP

2学期後期のメモリアル 2

6年生　修学旅行

宿泊した奈良のホテルのウェルカムシート

　１１月２１日（木）２２日（金）　６年生は修学旅行に行ってきました。今年度は、往路から帰路までの全行程、貸切バスを利用して旅行しました。

　秋晴れの好天に恵まれ、奈良・京都の深まりゆく秋の絶景を楽しみながら古都の歴史に触れることができた２日間・・・・１日目は、妙心寺退蔵院（初めての座禅体験！）、金閣寺、銀閣寺、清水寺と京都の代表的寺院を見学・体験。盛りだくさんの初日の日程でしたが、大きな混雑に遭うこともなく、驚くほどに何処もタイミングよく見学することができました。

修学旅行川柳（狂歌）

金閣寺　ごうかなみために　みとれちゃう
おかえりと　輝く学校　待っていた
初体けん　ざぜん体けん　おとつくな
USJ　ジョーズに乗って　ジョーズ(上手)に勝利
一二三　かぞえきれない　つのの数
しかたちは　せんべいなくても　よってくる
清水で　いいけしきだな　東大寺
木枯らしと　こころの中の　冬紅葉
このりょこう　きおくはぜったい　わすれない
奈良公園　鹿せんべいが　足りないな
奈良公園　せんべい出すと　鹿突進
退蔵院　しずかなくうかん　鳥の声
水面に　もう一つ　金閣寺
まぶしくて　映る鏡池　ほうおうが
清水の　広がるぶたい　最高だ
清水で　目かくし門の　意味を知る
退蔵院　耳をすませば　鳥の声
奈良公園　えさをもったら　しかいっぱい
座禅組み　空(から)の器に　落ち葉(おちば)の音(ね)
清水の　芋の子を洗う　人の波
　　土産を離さず　仲間と離れず
さみしいな　家族のぬくもり　いやされる
　　わたしのこころは　七つの色
清水で　高いぶたいで　見るこうけい
　　ながめがいいな　たてものとしぜん
ホテル内　しゅうしん時間に　先生が
　　へやにしんにゅう　あわててねたふり

　２日目は、奈良公園・東大寺（奈良の大仏）、ＵＳＪ（ユニバーサル・スタジオ・ジャパン）という行程でした。東大寺大仏殿では、この季節、普段ならば行列に並んで相当な順番待ちを余儀なくされる柱の「鼻の孔くぐり」ですが、全員が体験することができました。子どもたちが一番楽しみにしていたＵＳＪは、さすがの混雑状況で、たっぷりと時間をとっていたつもりでも、やはり十分に満足がいくまで遊ぶことはできなかったようです。

　それでも子どもたちは、めあてをしっかりともって、主体的に計画や下調べをし、心の準備を重ねてきており、訪れた場所、出来事、仲間との楽しいひとときなど、それら一つ一つが有意義で思い出深い２日間の修学旅行となりました。

山本一舟先生の書初め指導

１学期７月に引き続き、山本一舟先生が３～６年生の書初めの指導にお出でくださいました。
曽根小での「書初め」指導は、昭和５０年代から続けてくださっており、課題となる文字や一人一人の名前までを先生自らが個別のお手本に書いてくださったものを子どもたちに配付しています。
姿勢や腕の動かし方、筆の向きや穂先がどこを通っているのかなど、水書板を使って文字の書き方のポイントをひとつひとつ丁寧にご指導してくださいました。各学年２時間ずつ集中してがんばったので、どの子も堂々と力強い文字を書くことができるようになりました。

人権週間の取組

１２月４日（月）～８日（金）は、校内人権週間でした。
今年度は、運営委員会の児童が全校に呼びかけて「ハッピーソーネ言葉」を集める取組をしました。
「ふわふわ言葉」を集めて、学校中をハッピーな気分にしようというねらいです。
このように、子どもから子どもへと「人権意識の高揚」に繋がるような取組の積み重ねが、とても重要だと考えています。

12/2～13 校内読書週間

今年の校内読書週間でも、図書委員会を中心にいろいろな取組が企画・実施されました。
本で紹介された実験に図書委員が挑戦したり、楽しい詩の紹介とクイズ、ペア学年で読み聞かせをする「なかよしブックタイム」、そして、家庭での読書環境づくりを目指した「家族ふれあい読書」・・・・おうちの人と一緒に読書、とても素敵な取組です。ご協力いただき、ありがとうございました。

また、１２月１１日（水）の朝読書の時間には、いつも読み聞かせに来てくださっている読書ボランティア「きらりん☆」さんが、全校児童に向け、体育館のスクリーンに画像を投影しての読み聞かせをしてくださいました。映し出される映像を食い入るように見ながら、子どもたちは皆、『賢者のおくりもの』というお話の世界に浸っているようでした。そして最後には、きらりん☆さん方のハンドベルによる「きよしこの夜」の生演奏のプレゼントもありました。
きらりん☆の皆様、子どもたちに素敵な時間をプレゼントしてくださり、ありがとうございました。

「命を守る」教育（安全教育）・避難訓練

日本全国で、否、世界中で「自然災害」の脅威が広がっている中、「南海トラフ大地震」や豪雨災害等、身近に感じる脅威も年々大きくなってきています。曽根小学校でも、真に「子どもたちの命を守る」ことができる教育、体制づくりに向け、防災教育・避難訓練等の見直し（改訂）を始めています。さっそくに、災害別に異なる避難方法を子どもたち自身にも考えさせたり、「自分の命は自分で守る」意識の育成を図ることを重点にして、学年団別に避難訓練を実施しました。